

第15回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和2年10月15日（木）17：30～19：00
2. 会場：危機管理防災センター本部会議室
3. 委員（敬称略 五十音順）

岡部 信彦	川崎市健康安全研究所	所長
金井 忠男	埼玉県医師会	会長
坂木 晴世	国立病院機構西埼玉中央病院	専門看護師【WEB参加】
松田 久美子	埼玉県看護協会	会長
光武 耕太郎	埼玉医科大学国際医療センター	教授
4. 県側参加者

大野 元裕	知事
渡辺 充	浦和競馬組合 副管理者兼事務局長
山野 均	県民生活部長
森尾 博之	危機管理防災部長
関本 建二	保健医療部長
濱川 敦	都市整備部長
星 永進	保健医療部 参事
本多 麻夫	保健医療部 参事
岸本 剛	衛生研究所 副所長

5. 主な意見

ア 現状の分析・評価について

- 感染者は増えているが大きなクラスターの発生によるものが大きいと考えられ、ステージⅢやⅣになるような基準には至っていない。安心してはいけなけれど増加傾向が著しいというわけではない。(岡部委員)
- ミュージカル座での大規模クラスター発生について、マスクを着用していたのにも関わらずここまでの割合で陽性者が発生することは、何か特殊な要因があると考えられるため、リスクがどこにあったのかを整理する必要がある。(岡部委員、光武委員)

【県の対応】

- クラスター発生原因について調査し、次回専門家会議において報告することとした。

イ 埼玉県におけるイベントの取扱いについて

- イベントに参加していること自体が高い感染リスクであるとは言えないのではないか。(光武委員)
- 段階的に制限緩和上限を引き上げていくという手法は有効だと感じる。人が集中するような場所の状況を丁寧に確認して欲しい。(金井委員)

ウ 新型コロナウイルス感染症専用医療施設に係る病床整備計画の公募について

- 専用の医療施設で患者の受け皿を用意することは重要な取組である。(岡部委員、光武委員)